

防災ニュース NO. 1 (2023年6月15日発行)

ミッドスクエア管理組合防災委員会



お知らせ

管理組合内に「防災委員会」が立ち上がりました。

防災委員会の役割：防災に関する情報を集め、主に「防災ニュース」として皆様に配信します。

防災に必要な施策を講じます。

自治会と共同で防火・防災訓練を実施します。今年は7/15(土)午前を予定しております。改めてご案内差し上げます。

*「防災ニュース」は保存しておいてください。

本ニュースの内容のお問い合わせやご意見は下記までお寄せください：

防災担当理事 丸谷 (メールアドレス：n11-arvi@uu.em-net.ne.jp)

1. 初めに 関東大震災(1923年9月1日)から今年で丁度**100年**になります。関東ではこの規模の地震は約100年から200年の周期で襲ってくると言われています。

また静岡県から四国にかけては東海、南海地震などの大津波を伴う大地震がしばしば起こっています。これらの大地震は今後30年以内に70%~80%の確率で起こると言われています。もしかしたら**今!!**かもしれません。それに備えましょう。

2. まず家庭単位での備えを 自分たちの安全は自分たちで守りましょう。このマンションは免振構造となっています。揺れても倒壊しません。言ってみれば各戸が安全な避難場所です。

大災害が起きると、行政などの外からの支援は直ぐには期待できません。各戸(各家庭)を砦として生き抜く必要があります。

3. 生き抜くために

① 各戸に配布されている「巨大地震に身構える!(2012年版)」(冊子A:右下の写真)をもう一度お読みにになり、家具の転倒防止などの対策を講じましょう。冊子Aをご希望のご家庭はコンシェルジェにお申し出ください。お渡しいたします。

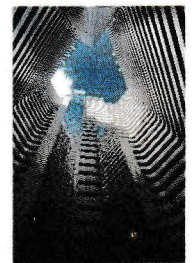
② 大災害の場合、外部からの支援の手が届くまで1週間以上かかります。

そのための水、食料、簡易トイレなどの備蓄にとりかかりましょう。ご家族で最低3日分、できれば1週間分の備蓄をお願いします。

p2の表1を参考になさってください。保存の効かないものは日常生活で利用し、使った分を新たに補充する「ローリングストック」という方法もあります。水など重たいものは配達してもらいましょう。



巨大地震に身構える
新編防災ハンドブック



その他の備蓄品は冊子Aのp22を参考にしてください。